



Neogen® Clean-Trace® Surface ATP キット製品

キットID

製品名 : Neogen® Clean-Trace® Surface ATP
製品コード : UXL100
Part Number(s) : 700002207|UXL100

キット安全情報シートの供給者の詳細

Supplier

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

Importer

Neogen Japan K.K.
220-0012
Kanagawa Nishi-ku Yokohama City 3-3-3, Minatomirai 12F Yokohama
Connect Square
T 045-211-4615

一般事項

使用上の制限 : あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。
概要 : このテストキットは、以下に記載されている複数の個別コンポーネントで構成されており、それぞれに安全データシート（SDS）が付属している場合があります。物品、および固定化されてアクセスできない化学物質には、このパッケージに安全データシートは付属していません。

Neogen® Clean-Trace® Surface ATP

キット 安全情報シート (SIS)

キット内容

名前	GHS分類
Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme	爆発物 分類できない 可燃性ガス 分類対象外 エアゾール 分類できない 酸化性ガス 分類対象外 高圧ガス 分類対象外 引火性液体 分類できない 可燃性固体 分類対象外 自己反応性化学品 分類できない 自然発火性液体 分類できない 自然発火性固体 分類対象外 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性化学品 分類できない 酸化性液体 分類できない 酸化性固体 分類対象外 有機過氧化物 分類できない 金属腐食性化学品 分類できない 鈍性化爆発物 分類できない 急性毒性(経口) 分類できない 急性毒性(経皮) 分類できない 急性毒性(吸入：気体) 分類対象外 急性毒性(吸入：蒸気) 分類対象外 急性毒性(吸入：粉じん、ミスト) 分類できない 皮膚腐食性／刺激性 分類できない 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 分類できない 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 分類できない 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない 誤えん有害性 分類できない 水生環境有害性 短期（急性）区分外 水生環境有害性 長期（慢性）区分外 オゾン層への有害性 分類できない
Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution	急性毒性(経口) 区分外 水生環境有害性 短期（急性）区分外 水生環境有害性 長期（慢性）区分外

輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

Neogen® Clean-Trace® Surface ATP

キット 安全情報シート (SIS)

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	
	規制されていない
輸送危険物分類	
	規制されていない
容器等級	
	規制されていない
環境有害性	
	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報

: 補足情報なし



安全データシート

Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2025/08/18 改訂日: 2025/11/26 バージョン: 1.1



安全データシート

Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme

JIS Z 7253 : 2019に準拠

作成日: 2025/08/18 改訂日: 2025/11/26 バージョン: 1.1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]
製品コード : 400001136
Part Number(s) : 400001136

推奨用途及び使用上の制限

使用上の制限 : あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。

会社情報

仕入先

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Lesher Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-3-3 横浜コネクトスクエア
12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 24 hours:
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入: 気体)	区分に該当しない

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme

JIS Z 7253 : 2019に準拠

急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない
オゾン層への有害性	分類できない

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Disodium dihydrogen ethylenediaminetetraacetate, dihydrate	< 0.1	(2)-1265	既存化学物質	6381-92-6

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	: 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	: First-aiders should pay attention to their own protection and use the recommended personal protective equipment (see section 8)。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme

JIS Z 7253 : 2019に準拠

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
-------	--

非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。
------------	-----------------

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。 可能であればリスクなく漏出をせき止める。
浄化方法	: 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
その他の情報	: 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: データなし
安全取扱注意事項	: 作業所の十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。
接触回避	: データなし
衛生対策	: この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 製品取扱い後には必ず手を洗う。

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme

JIS Z 7253 : 2019に準拠

保管

安全な保管条件	: 涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料	: データなし
技術的対策	: 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料	: 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具	: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具	: 保護用手袋
眼の保護具	: 安全メガネ
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 無色
臭い	: 微臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme

JIS Z 7253 : 2019に準拠

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の99.3%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の99.3%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている

Disodium dihydrogen ethylenediaminetetraacetate, dihydrate (6381-92-6)	
LD50 経口 ラット	2800 mg/kg BW (BASF test, Rat, Male / female, Experimental value, Anhydrous form, Oral)

皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

Disodium dihydrogen ethylenediaminetetraacetate, dihydrate (6381-92-6)	
動粘性率	Not applicable (solid)

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般	: 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期 (急性)	: 区分に該当しない
水生環境有害性 長期 (慢性)	: 区分に該当しない

Disodium dihydrogen ethylenediaminetetraacetate, dihydrate (6381-92-6)	
LC50 - 魚 [1]	705 mg/l (US EPA, 96 h, Lepomis macrochirus, Static system, Fresh water, Read-across, Anhydrous form)
EC50 - 甲殻類 [1]	140 mg/l (DIN 38412-11, 48 h, Daphnia magna, Static system, Fresh water, Experimental value, Anhydrous form)
ErC50 藻類	> 100 mg/l (EU Method C.3, 72 h, Scenedesmus subspicatus, Static system, Fresh water, Read-across, Anhydrous form)
BCF - 魚 [1]	1.8 (Other, 28 day(s), Lepomis macrochirus, Flow-through system, Fresh water, Read-across, Anhydrous form)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-4.3 (Experimental value, Equivalent or similar to OECD 107, 25 ° C)

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme

JIS Z 7253 : 2019に準拠

残留性・分解性

Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme	
残留性・分解性	急速分解性でない
Disodium dihydrogen ethylenediaminetetraacetate, dihydrate (6381-92-6)	
残留性・分解性	Not readily biodegradable in the soil, Not readily biodegradable in water。
生化学的酸素要求量(BOD)	0.01 g O ₂ /g substance

生体蓄積性

Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme	
生体蓄積性	データなし
Disodium dihydrogen ethylenediaminetetraacetate, dihydrate (6381-92-6)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
BCF - 魚 [1]	1.8 (Other, 28 day(s), Lepomis macrochirus, Flow-through system, Fresh water, Read-across, Anhydrous form)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-4.3 (Experimental value, Equivalent or similar to OECD 107, 25 ° C)

土壌中の移動性

Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme	
土壌中の移動性	データなし
Disodium dihydrogen ethylenediaminetetraacetate, dihydrate (6381-92-6)	
土壌中の移動性	312.7 Source: EPISUITE
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-4.3 (Experimental value, Equivalent or similar to OECD 107, 25 ° C)
生態系 - 土壌	Low potential for adsorption in soil。

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGIに準ずる

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® LSE Enzyme

JIS Z 7253 : 2019に準拠

国連勧告 (UN RTDG)	
国連番号	
輸送規則の定義上危険物に該当しない。	
国連正式品名	
	規制されていない
輸送危険物分類	
	規制されていない
容器等級	
	規制されていない
環境有害性	
	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

海洋汚染防止法 : 有害でない物質（施行令別表第1の2）
労働基準法 : 疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1）

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしており、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある。製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。



安全データシート

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution

JIS Z 7253 : 2019に準拠
作成日: 2025/08/18 改訂日: 2025/11/26 バージョン: 2.1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution
製品タイプ : Food Safety -- [Food Safety]
製品コード : 400001135
Part Number(s) : 400001135

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 化学研究及び開発、分析用薬剤
使用上の制限 : あるキットのキットコンポーネントを他のキットと一緒に使用しないでください。

会社情報

仕入先

Neogen Corporation
48912
United States of America Michigan Lansing 620 Leshler Place
T 800.234.5333
sds@neogen.com - <https://www.neogen.com/>

輸入業者

ネオジェンジャパン株式会社
220-0012
神奈川県 横浜市西区 みなとみらい3-3-3 横浜コネクタスクエア
12階
T 045-211-4615

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 24 hours:
Medical: 1-800-498-5743 (U.S. and Canada) or 1-651-523-0318 (international)
Spill/CHEMTREC: 1-800-424-9300 (U.S. and Canada) or 1-703-527-3887 (international)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分に該当しない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分に該当しない

※上記に記載のないものは区分に該当しない (分類対象外) または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
Propylene glycol	≥ 5 - < 10	(2)-234	2-(8)-321,2-(8)-323	57-55-6
Ethoxylated sec-alcohols (C=11-15)	> 0.354	-	-	68131-40-8

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution

JIS Z 7253 : 2019に準拠

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般	: 気分が悪い場合は医師の診察を受ける。
吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 皮膚は多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	: 予防措置として眼を水ですすぐ。
飲み込んだ場合	: 気分が悪いときは医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護	: First-aiders should pay attention to their own protection and use the recommended personal protective equipment (see section 8)。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 眼に入った場合	: 通常の条件下では特に無し。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 通常の条件下では特に無し。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療	: 対症的に治療すること。
-------------------	---------------

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	: 強い水流は使用しない。
火災危険性	: 火災の危険は一切ない。
爆発の危険	: 直接に爆発する危険は全くない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。
-------	--

非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 漏出エリアを換気する。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution

JIS Z 7253 : 2019に準拠

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 砂または土により、すべての拡散した製品を吸収する。
流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。
可能であればリスクなく漏出をせき止める。

浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。

その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし

安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。

接触回避 : データなし

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 涼しいところに置き、日光から遮断すること。

安全な容器包装材料 : データなし

技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。

容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。

呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

手の保護具 : 保護用手袋

眼の保護具 : 安全メガネ

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 淡黄色

臭い : 微臭

pH : データなし

融点 : データなし

凝固点 : データなし

沸点 : データなし

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution

JIS Z 7253 : 2019に準拠

分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に可溶。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution	
未知の急性毒性 (GHS JP)	混合物の94.44%は未知の急性毒性(経皮)の成分で構成されている 混合物の99.56%は未知の急性毒性(吸入 (粉じん/ミスト))の成分で構成されている
Propylene glycol (57-55-6)	
急性毒性 (経口)	【分類根拠】 (1) ~ (3) より、区分外とした。【根拠データ】 (1) ラットのLD50 : 22,000 mg/kg (SIDS (2004)) (2) ラットのLD50 : 8,000 ~ 46,000 mg/kg (EPA Pesticide (2006)) (3) ラットのLD50 : 21,000 ~ 33,700 mg/kg (PATTY (6th, 2012)) 【参考データ等】 (4) マウスのLD50 : 24,900 mg/kg (SIDS (2004)) (5) マウスのLD50 : 23,000 ~ 24,900 mg/kg (EPA Pesticide (2006)) (6) マウスのLD50 : 23,900 ~ 31,800 mg/kg (PATTY (6th, 2012))
急性毒性 (経皮)	【分類根拠】 (1) より、区分外とした。【根拠データ】 (1) ウサギのLD50 : 20,800 mg/kg (SIDS (2004))
急性毒性 (吸入:気体)	【分類根拠】 GHSの定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	【分類根拠】 データ不足のため分類できない。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	【分類根拠】 データ不足のため分類できない。

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Propylene glycol (57-55-6)	
LD50 経口 ラット	22000 mg/kg (Rat, Male / female, Experimental value, Oral)
LD50 経口	8000 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg BW (24 h, Rabbit, Experimental value, Dermal, 14 day(s))
LD50 経皮	20800 mg/kg
LC50 吸入 - ラット	> 44.9 mg/l (4 h, Rat, Male / female, Experimental value, Inhalation (aerosol), 7 day(s))
Ethoxylated sec-alcohols (C=11-15) (68131-40-8)	
LD50 経口 ラット	2380 mg/kg Source: National Library of Medicine
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg Source: ECHA

皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない

Propylene glycol (57-55-6)	
皮膚腐食性／刺激性	<p>【分類根拠】 (1) ~ (5) より、区分外とした。【根拠データ】 (1) ヒトの皮膚に本物質原液を48時間適用したところ、刺激性は見られなかったとの報告がある (SIDS (2004))。 (2) ヒト6人の皮膚に本物質原液を2時間適用したところ、刺激性は見られなかったとの報告がある (SIDS (2004))。 (3) ウサギを用いた皮膚刺激性試験 (OECD TG404) で、刺激性は見られなかったとの報告がある (SIDS (2004))。 (4) ウサギを用いた皮膚刺激性試験 (ドレイズ変法) で、刺激性はみられなかったとの報告がある (SIDS (2004))。 (5) ウサギを用いた皮膚刺激性試験 (EPA OPPTS 870.2400) で、本物質は非刺激性 (non irritant) との報告がある (EPA Pesticide RED (2006))。</p>

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

Propylene glycol (57-55-6)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	<p>【分類根拠】 (1)、(2) より、区分外とした。なお、(3) はIPCSの記述であり、(4)、(5) はデータの詳細が不明であることから、分類判断に用いることはできないと判断した。【根拠データ】 (1) ウサギを用いた眼刺激性試験 (OECD TG405) 2件で、本物質原液の適用により刺激性は見られなかったとの報告がある (SIDS (2004))。 (2) ウサギを用いた眼刺激性試験 (EPA OPPTS 870.2400) で、本物質は非刺激性 (non irritant) との報告がある (EPA Pesticide RED (2006))。【参考データ等】 (3) ヒトの眼を刺激し、眼に入ると発赤、痛みを生じる (環境省リスク評価第6巻：暫定的有害性評価シート (2008))。 (4) ヒトで眼刺激性の報告がある (IPCS PIM 443 (Accessed Oct. 2018))。 (5) 本物質の職業ばく露による眼の傷害の報告はないが、一過性の刺すような痛み、眼瞼痙攣、流涙を生じる可能性があるとの報告がある (PATTY (6th, 2012))。</p>

呼吸器感作性 : 分類できない

Propylene glycol (57-55-6)	
呼吸器感作性	【分類根拠】 データ不足のため分類できない。

皮膚感作性 : 分類できない

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Propylene glycol (57-55-6)	
皮膚感作性	<p>【分類根拠】 (1) ~ (4) より、区分外とした。【根拠データ】 (1) ヒトに対する皮膚パッチテスト (n=104, GLP) で、本物質50%溶液の半閉塞/閉塞適用による感作誘導後、50%溶液の半閉塞/閉塞適用で感作を誘発させたところ、それぞれ陽性反応は示さなかったとの報告がある (SIDS (2004))。</p> <p>(2) ヒトに対する皮膚パッチテスト (ドレイズ変法、n=204) で、本物質12%溶液の閉塞適用による感作誘導後、12%溶液の閉塞適用で感作を誘発させたところ、陽性反応は示さなかったとの報告がある (SIDS (2004))。 (3) モルモットを用いたMaximization試験 (GPMT) 7件のうち1試験のみ弱い陽性が見られたが、他の6試験は全て陰性だったとの報告がある (J. Am. Coll. Toxicol., 13 (1994))。 (4) マウスを用いた皮膚感作性試験 (OECD TG429, LLNA法、n=4) において本物質50%溶液でStimulation Index (SI値) は1.2、本物質原体でSI値1.6だったとの報告がある (REACH登録情報 (Accessed Oct. 2018))。</p>

生殖細胞変異原性 : 分類できない

Propylene glycol (57-55-6)	
生殖細胞変異原性	<p>【分類根拠】 (1) ~ (3) より、ガイダンスに従い分類できないとした。</p> <p>【根拠データ】 (1) ラットの優性致死試験 (単回又は5日間経口投与) は陰性であった (SIDS (2004))。 (2) ラットの骨髄を用いたin vivo染色体異常試験 (単回又は5日間経口投与) では陰性であった (SIDS (2004))。 (3) マウスの骨髄を用いたin vivo小核試験 (単回腹腔内投与) では陰性であった (SIDS (2004))。【参考データ等】 (4) 細菌を用いた2件の復帰突然変異試験は陰性であった (SIDS (2004))。 (5) ヒトリンパ球を用いたin vitro染色体異常試験では陰性であった (SIDS (2004))。 (6) 哺乳類培養細胞 (CHO) を用いたin vitro染色体異常試験では陽性 (S9-) の結果が得られたが、細胞毒性が発現する高濃度での結果であった (SIDS (2004))。</p>

発がん性 : 分類できない

Propylene glycol (57-55-6)	
発がん性	<p>【分類根拠】 発がん性に関して、利用可能なヒトを対象とした報告はない。利用可能な動物試験結果は (1) の動物種1種に限られ、データ不足のため分類できない。【根拠データ】 (1) ラット (30匹/性/群) の2年間混餌投与による発がん性試験 (雄 : 200~1,790 mg/kg/day、雌 : 300~2,100 mg/kg/day) では腫瘍発生の増加はみられなかった (SIDS (2004))。 (2) 国内外の分類機関による既存分類はない。【参考データ等】 (3) イヌ (5匹/性/群) を用いた2年間混餌投与 (2,000、5,000 mg/kg/day) による慢性毒性試験で、腫瘍発生頻度に変化はみられなかった (SIDS (2004))。 (4) 雌マウス (例数不明) に一生経皮投与 (2~21 mg/匹/day) した試験で、皮膚腫瘍の増加はみられていない (SIDS (2004))。 (5) ラットの耳介に10~14ヵ月間塗布 (用量不明) したが、皮膚腫瘍の発生増加はみられなかった (SIDS (2004))。</p>

生殖毒性 : 分類できない

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Propylene glycol (57-55-6)

生殖毒性

【分類根拠】 (1) の経口投与による繁殖試験や、(2)、(3) の妊娠動物を用いた発生毒性試験では生殖発生毒性がみられなかったことから、分類できないとした。【根拠データ】 (1) マウスを用いた飲水投与による連続交配試験において、10, 100 mg/kg/dayを最長98日間投与したが、F0及びF1親動物に投与に関連した生殖影響はみられず、F1及びF2児動物に投与に関連した生存率、成長への影響はみられなかった (SIDS (2004)、環境リスク初期評価第6巻：暫定的有害性評価シート (2008))。 (2) 妊娠ラットの器官形成期 (妊娠6～15日) に強制経口投与した発生毒性試験では、1,600 mg/kg/dayまでの用量で母動物、胎児ともに有害影響はみられなかった (SIDS (2004)、環境リスク初期第6巻：暫定的有害性評価シート (2008))。 (3) 妊娠ウサギの器官形成期 (妊娠6～18日) に強制経口投与した発生毒性試験では、12～267 mg/kg/day群で母動物に死亡例 (用量相関なし) がみられたが、最高用量の1,230 mg/kg/dayまで、胎児に発生影響はみられなかった (SIDS (2004)、環境リスク初期第6巻：暫定的有害性評価シート (2008))。【参考データ等】 (4) 妊娠マウスの器官形成期 (妊娠6～15日) に強制経口投与した発生毒性試験では、1,600 mg/kg/dayまでの用量で母動物、胎児ともに有害影響はみられなかった (SIDS (2004)、環境省リスク評価第6巻：暫定的有害性評価シート (2008))。 (5) 妊娠ラットの器官形成期 (妊娠6～15日) に吸入ばく露した発生毒性試験では、300 ppmまでの用量で母動物、胎児ともに有害影響はみられなかった (ATSDR addendum (2008))。 (6) 妊娠ウサギの器官形成期 (妊娠7～19日) に吸入ばく露した発生毒性試験では、300 ppmまでの用量で母動物、胎児ともに有害影響はみられなかった (ATSDR addendum (2008))。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

: 分類できない

Propylene glycol (57-55-6)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

【分類根拠】 (1) ～ (3) のヒトの知見より、中枢神経系及び血液系が標的臓器と考えられる。また、(3)、(4) の実験動物のデータからも神経系及び血液系が標的臓器と考えられる。また(3)より麻酔作用がみられている。以上より、区分1 (中枢神経系、血液系)、区分3 (麻酔作用) とした。【根拠データ】 (1) 2歳の男児が約1.75～2.25%の本物質を含むヘアジェルを誤って約3オンス摂取した後に中枢神経抑制及び代謝性アシドーシスを生じた。男児は嘔吐を繰り返し、嗜眠になり、強い痛みには反応しなくなった (ATSDR addendum (2008)、SIDS (2004))。 (2) 経口摂取による急性中毒症状は眠気から知覚麻痺、意識喪失、昏睡に至る。他の徴候としては、血清の高浸透圧、乳酸アシドーシス、及び低血糖である (IPCS PIM 433 (Accessed Oct. 2018))。 (3) 高用量の経口摂取による急性毒性症状は、中枢神経抑制と麻酔作用である。ラット及びマウスでは運動失調、眼瞼下垂、自発運動減少、体幹及び四肢の緊張、及び呼吸の減少である (ATSDR addendum (2008))。 (4) ラットの単回経口投与試験では、区分2範囲の730 mg/kg以上で赤血球数・ヘモグロビン・ヘマトクリット値の減少、及び網状赤血球・血漿ヘモグロビン・浸透圧の増加がみられた。また、赤血球の電顕観察で表面粗造、膜の破壊もみられた (SIDS (2004)、ATSDR addendum (2008))。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: 分類できない

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Propylene glycol (57-55-6)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	<p>【分類根拠】 (1)、(2)のヒトのデータより中枢神経系が本物質の標的と考えられ、区分1(中枢神経系)を採用した。また、(3)の実験動物のデータより、吸入経路での影響は区分1の用量で呼吸器への影響がみられたことから、区分1(呼吸器)とした。なお(3)のデータにおける試験濃度の160 mg/m³(51.4 ppm)は飽和蒸気圧濃度(108.9 ppm)の90%より低く、ミストを含まない蒸気と考えられることから、蒸気の基準を適用した。【根拠データ】</p> <p>(1) 15カ月の若年者が内服治療の溶媒として本物質を繰り返し大量に摂取した結果、低血糖と中枢神経抑制による有害症状を生じた。服薬中止により症状は急速に改善した(PATTY (6th, 2012))。(2) 本物質を含む治療薬を1年以上内服した後に11歳の少年が大発作を起こした。この他、本物質に溶解したフェニトインを内服した患者で中枢抑制症状の報告がある(IPCS PIM 443 (Accessed Oct. 2018))。(3) ラットに本物質を13週間吸入ばく露(160~2,200 mg/m³、6時間/日、5日/週)した試験では、区分1の範囲内である160 mg/m³(ガイダンス値換算: 0.12 mg/L)以上で鼻腔の出血、眼の分泌物の増加、1,000 mg/m³以上で、鼻腔に杯細胞数とムチンの増加を伴う呼吸上皮の肥厚がみられた(環境省リスク評価第6巻: 暫定的有害性評価シート(2008))。【参考データ等】(4) ラットに15週間混餌投与した試験では、50,000 ppm(約2,500 mg/kg/day)で、有害性影響はみられなかった(SIDS (2004))。(5) ラットに140日間飲水投与した試験では、25%以上の濃度では飲水量減少による飢餓と脱水により全例が死亡した。NOAELは10%(13,200 mg/kg/day)と報告されている(SIDS (2004))。(6) ラットに104週間混餌投与した試験では、50,000 ppm(雄: 1,700 mg/kg/day、雌: 2,100 mg/kg/day)有害性影響はみられなかった(SIDS (2004))。(7) イヌに104週間混餌投与した試験では、2,000 mg/kg/dayでは影響はみられず、5,000 mg/kg/dayで血液系への影響(赤血球数・ヘモグロビンの減少など)がみられた(SIDS (2004))。(8) ネコに2~3か月間混餌投与した試験で、443 mg/kg/day以上で血液系への影響(ハインツ小体の増加、肝臓のヘモジデリン沈着(二次的変化))がみられた(SIDS (2004))。</p>
NOAEL(亜慢性、経口、動物/オス、90日)	443 mg/kg BW Animal: cat, Animal sex: male

誤えん有害性 : 分類できない

Propylene glycol (57-55-6)	
誤えん有害性	【分類根拠】 データ不足のため分類できない。
動粘性率	55.77 mm ² /s (20 °C, No data available in the literature)

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水生生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。

水生環境有害性 短期(急性) : 区分に該当しない

水生環境有害性 長期(慢性) : 区分に該当しない

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution

JIS Z 7253 : 2019に準拠

Propylene glycol (57-55-6)	
水生環境有害性 短期 (急性)	藻類 (ムネカズキモ) 72時間EC50 (生長速度) >1000 mg/L、甲殻類 (オシジノコ) 48時間EC50(遊泳阻害) >1000 mg/L、魚類 (マダカ) 96時間LC50 >100 mg/L (ともに環境省生態影響試験: 2018) であることから、区分外とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	急速分解性があり(良分解性、BODによる平均分解度: 90%(化審法DB: 1991))、藻類 (ムネカズキモ) 72時間NOEC (生長速度) = 1000 mg/L、甲殻類(オシジノコ)の21日間NOEC(繁殖阻害)= 1000 mg/L(ともに環境省生態影響試験: 2018)であることから、区分外とした。
LC50 - 魚 [1]	40613 mg/l (96 h, Oncorhynchus mykiss, Static system, Fresh water, Experimental value, Measured concentration)
LC50 - 魚 [2]	51400 mg/l Test organisms (species): Pimephales promelas
EC50 - 甲殻類 [1]	1000 mg/l
EC50 72h - 藻類 [1]	24200 mg/l Test organisms (species): Raphidocelis subcapitata (previous names: Pseudokirchneriella subcapitata, Selenastrum capricornutum)
EC50 72h - 藻類 [2]	19300 mg/l Test organisms (species): Skeletonema costatum
EC50 96h - 藻類 [1]	19000 mg/l Test organisms (species): Raphidocelis subcapitata (previous names: Pseudokirchneriella subcapitata, Selenastrum capricornutum)
EC50 96h - 藻類 [2]	19100 mg/l Test organisms (species): Skeletonema costatum
ErC50 藻類	24200 mg/l (OECD 201: Alga, Growth Inhibition Test, 72 h, Pseudokirchneriella subcapitata, Static system, Fresh water, Experimental value, GLP)
NOEC 甲殻類 慢性	1000 mg/l
NOEC 藻類 慢性	1000 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-1.1 (Experimental value, EU Method A.8: Partition Coefficient, 20.5 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.46 (log Koc, Calculated value)
Ethoxylated sec-alcohols (C=11-15) (68131-40-8)	
LC50 - 魚 [1]	3 mg/l Source: The ECOTOXicology database
NOEC (慢性)	0.2 mg/l Test organisms (species): Duration: '21 d'
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.83 Source: Quantitative Structure Activity Relation

残留性・分解性

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution	
残留性・分解性	急速分解性でない
Propylene glycol (57-55-6)	
残留性・分解性	Biodegradable in the soil, Readily biodegradable in water.
生化学的酸素要求量(BOD)	0.96 – 1.08 g O ₂ /g substance
化学的酸素要求量(COD)	1.63 g O ₂ /g substance
ThOD	1.69 g O ₂ /g substance
Ethoxylated sec-alcohols (C=11-15) (68131-40-8)	
残留性・分解性	急速分解性でない

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution

JIS Z 7253 : 2019に準拠

生体蓄積性

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution	
生体蓄積性	データなし
Propylene glycol (57-55-6)	
生体蓄積性	Not bioaccumulative。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-1.1 (Experimental value, EU Method A.8: Partition Coefficient, 20.5 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.46 (log Koc, Calculated value)
Ethoxylated sec-alcohols (C=11-15) (68131-40-8)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.83 Source: Quantitative Structure Activity Relation

土壌中の移動性

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution	
土壌中の移動性	データなし
Propylene glycol (57-55-6)	
表面張力	71.6 mN/m (22 °C, 1.01 g/l, EU Method A.5: Surface tension)
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	-1.1 (Experimental value, EU Method A.8: Partition Coefficient, 20.5 ° C)
有機炭素吸着係数 (Log Koc)	0.46 (log Koc, Calculated value)
生態系 - 土壌	Highly mobile in soil。
Ethoxylated sec-alcohols (C=11-15) (68131-40-8)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	2.83 Source: Quantitative Structure Activity Relation

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDGに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)
国連番号
輸送規則の定義上危険物に該当しない。

安全データシート

Neogen® Clean-Trace® Swabbing Solution

JIS Z 7253 : 2019に準拠

国連勧告 (UN RTDG)	
国連正式品名	規制されていない
輸送危険物分類	規制されていない
容器等級	規制されていない
環境有害性	規制されていない

MARPOL 73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

- 化審法 : 優先評価化学物質 (法第2条第5項)
- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)
- 【改正後 令和8年4月1日以降】
名称等を表示すべき危険物及び有害物 (法第57条第1項、施行令第18条第2号～第3号、安衛則第30条別表第2)
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)
プロピレングリコール (別表の番号: 1786)
- 【改正後 令和8年4月1日以降】
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2第1項、施行令第18条の2第2号～第3号、安衛則第34条の2別表第2)
プロピレングリコール (別表の番号: 1786)
- 消防法 : 指定可燃物、可燃性液体類 (法第9条の4、危険物規制令別表第4)
- 海洋汚染防止法 : 有害でない物質 (施行令別表第1の2)
有害液体物質 (Z類物質) (施行令別表第1)
有害液体物質 (Y類同等の物質) (環境省告示第148号第2号)

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。